



平成20年11月4日

各位

会社名 株式会社 あじかん
 代表者名 代表取締役社長 足利 政春
 (コード番号2907 東証第2部・大証第2部)
 問合せ先 執行役員 経理システム部長
 樋口 研治
 TEL 082-277-7010

平成21年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月15日に公表いたしました平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)の業績予想について、下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)の業績予想

(1) 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	16,700	△80	△50	△60	円 銭 △7 80
今回修正予想(B)	16,700	△60	△20	△60	△7 80
増減額(B)-(A)	0	20	30	0	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	16,143	204	208	82	10 73

(2) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	16,700	△90	△100	△80	円 銭 △10 40
今回修正予想(B)	16,700	△50	△60	△90	△11 70
増減額(B)-(A)	0	40	40	△10	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	16,141	227	217	81	10 60

2. 修正の理由

当初見込んでいた以上に魚肉すり身や鶏卵などの主要原材料価格が高騰したうえ、原油価格や穀物価格高騰による諸コストの追加発生もありましたが、原価低減や経費削減などの努力により、当初予想より、若干、営業損失・経常損失が減少する見込みのため、前回発表予想に対して上方修正するものです。また、当四半期純損失につきましては、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(低価法)の適用により、棚卸資産に係る評価を特別損失に計上した影響で、前回予想並みとなる見込みです。

なお、連結業績予想の修正は、主に個別の修正によるものであります。

通期の連結・個別の業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの業績が概ね当初の予定どおりに推移している一方で、下期業績に影響を与える不確定な要素が多いことから、前回予想より変更はございません。

以上